



富士見市社協
マスコット「うさみん」

うさみんクラブ通信

2021(令和3)年10月号 No.117

うさみんの歌「うさみんサンバ」

寄贈いただきました



うさみんをゆるキャラ1位へと
推して下さっている、あいサポートメッセン
ジャーでもある古川さんより素敵なお歌を
プレゼントいただきました！



贈呈時の写真
古川さんとうさみん

古川さんの熱い想いと素敵なお縁で、今回
「うさみんサンバ」が出来上がりました♪
関わって下さった皆様のご紹介はInstagram
に掲載させていただきます！
今後「うさみんサンバ」が様々な所で流れる
かも！？
BGMとして流していただけのお店や「うさみん
サンバ」の振り付けなど、皆さまからの素晴
らしいアイデアお待ちしております♪



CDが完成した時の記念写真
(左) 歌：橘あんりさん
(右) 作曲：Michiko Matsukuboさん



こちらの二次元コードはInstagramへリンクします
次の画面でうさみんサンバが流れます♪※音量注意

「うさみんサンバ」

歌：橘あんり
作詞：NOBU & 富士見市社協 & Michiko Matsukubo
作曲：Michiko Matsukubo
編曲：音の歩き方
サウンドエンジニア：ryo harabuchi

ハッピーシュガー&
富士見の寅さん

ハッピー音楽祭 on ZOOM

デイサービス、ショートステイ4施設をつないで

開催したZOOM音楽祭

『ぱれっと』の和室から発信



参加者はなんと総勢97名！

こんなに大勢が同時に楽しみ、喜びを分かち合えるのは
オンラインならではの、かもしれませんね



他施設の方々の様子も
見られるなんてびっくり！



日本全国津々浦々...
いざ、民謡の旅へと出発



浜辺の歌、東京のバスガール
赤とんぼ...嬉し懐かしの唄、続々

フルートの音色に癒されます



御年87歳の“ふじみの寅さん”が披露して下さった楽器の数々は何と7種類！

ギターをはじめ、スネアドラム、写真の楽器は『ギロ』という中南米発祥の打楽器だそうです。

仕事一筋だったふじみの寅さんが楽器を始めたのは70歳。

「人間新しいことを始めるのに遅すぎるなんて事はないよ」とのメッセージに

画面の前の利用者さんも「励まされました！」との感想が届いています



傾聴ボランティア「やまぶき」会員募集！

奇しくも3・11の同じ日に設立した「やまぶき」。

11年目に入りコロナ禍の影響を大きく受けながらも、会員は意識を高く持ち、
明日に備えて、定例会は継続しています。

実は、今この時が一番大事と思っています。

ちょっとご近所とおしゃべりしたい、サークルに出かけてみんなの顔がみたい...
誰もがそう思っているのでは。

こんな時だからこそお役に立ちたいボランティアなのです。

活動できない今は、お便りなどもお届けしています。

市内で活動しているケアマネージャーさんから時折、依頼の声がかかります。

施設の職員さんも、一日も早くコロナが収束するのをお待ちです。

「傾聴」は文字通り心を、気持ちを、お相手に寄り添って聴くことだと思います。

「傾聴」は一通りの学習をし、理解できた上で会員になっていただきます。

やってみると難しい反面お相手が喜んで下さった時の感激は、より一層のものがあります。

モノではなく心で、高齢の方のサポート！してみませんか？

ご応募お待ちしております。

やまぶき代表 瀬戸千江

～お誘いの説明会～

2021年12月3日(金)

10:30～12:00

中央図書館2F

先着15人

※切11月末日

お問合せ:

080-4340-3710(瀬戸)



こんなボランティアの形もあります

長引く新型コロナウイルスの影響により、貧困率の上昇や親からのネグレクト、虐待など子どもたちをめぐる深刻なニュースが後を絶ちません。

富士見市には44年もの間、埼玉県内2か所の「児童養護施設」の子どもたち120名一人ひとりに毎年お誕生日プレゼントと手作りのお誕生日カードをそっとサンタクロースのようにお届けしているボランティアグループさんがいます！

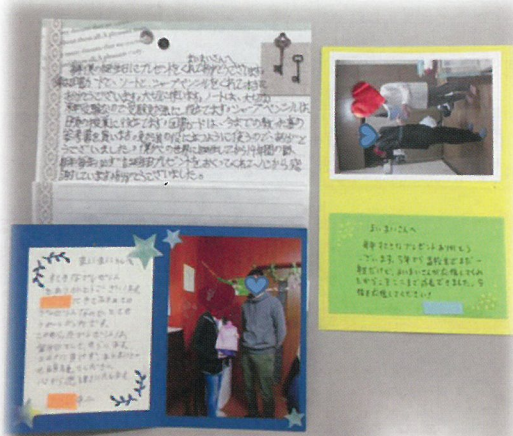
その名も『まいまい』

自分たちの家庭をしっかりと守りながら無理な活動はしないでカタツムリのようにマイペースでゆっくり前進していこうという理念のもと、

メンバー同士が互いに助け合い支え合って活動を続けてこられたとの事。

44年間、毎月欠かさずに子どもたちへお祝いを届けるには大変なこともたくさんあったかと思ひます。13名のメンバーの皆さんの根底にあるのはやはり、『子どもたちの心豊かな成長』を願う心。

ゆっくり長〜く
活動中




プレゼントを受け取った子どもたちから喜びのお手紙が届くと、本当にうれしい

18歳になると施設を卒業し、社会へと旅立つ子どもたち。

まいまいからの卒業お祝い金を手に「これでフライパンを買います！」という子もいたそうです。

今後は巣立った子どもたちがふと懐かしく帰れる『居場所』づくりにも取り組んでいけたら、と代表の谷脇さんは仰います。




Instagramからもぜひ
チェックしてみてください 

まいまいの活動の財源は

メンバーの会費(月500円)と富士見市ボランティアセンターからの助成金、そしてフリーマーケットを出店しての売上金でした。

しかし現在、新型コロナウイルスの影響によりフリーマーケットやバザーが思うように開催できない状況だそうです。手作りのお誕生日カード作成のお手伝いだけでも、賛助金のご協力だけでも大丈夫。

まいまいの活動に共感いただける方のご協力をお待ちしています 

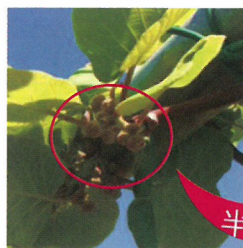


うさみんファーム2021

【クイズ:これなあに?】



ヒント: ○花○
実は土の中にできるよ
答えは畑に



半年後

さつまいもを
収穫したよ



活動日: 水曜日
10:00~12:00
どなたでも参加OK
社協にお電話ください

うさみんファームは農薬を使いません。雑草取りは大変ですが作業に集中すると気分がリフレッシュされます。土や緑には癒し効果もあるとか。あなたも畑仲間になりませんか?



あいサポートイベント 2021

～知ろう・学ぼう・当事者から～



障がいのこと
知っているのと知らないのでは
障がいがある人への接し方が
変わってくると思う

講演『なりたい自分になるために』講師 渋谷真子氏

山形県の講師とオンラインで繋がりリアルとオンラインで結ぶハイブリット型講演会

【日時】 2021年12月4日(土)
13:30会場 14時開演

【会場】 ①上映 ぱれっと 会議室
②オンライン Zoom使用

【定員】 ①上映 ぱれっと 20名
②オンラインはZoom使用
できる方 80名

【参加費】 無料、要申込、先着順

【申込開始】 11月1日(月)より
【申込】 電話・FAX(お名前・連絡先)
Googleフォームにて



←Googleフォームは
こちらから

※詳細は、社協HP、Instagramにて
随時更新します。



渋谷真子プロフィール
登録者9万人超の車椅子YouTuber
「現代のもののけ姫Maco」

山形県の田舎の山の中で育ち、茅葺職人の見習いとして
日本の古き良き文化財を守っていた中、2018年7月
転落事故で脊髄損傷による障がいを負い車いすの生活に。
障がいにおいてタブーのように扱われる、性や排せつについてなどを
包み隠さず自身のYouTubeで発信している。



川柳大募集

チカララジオでは皆さまからの川柳をご紹介させてい
ただいています！ぜひふるってご参加下さい

地域福祉情報発信企画

#チカララジオ

毎月第3火曜日

12:30~13:00

FM84.0MHz

川柳の投稿は
こちらから



ボランティアスクール

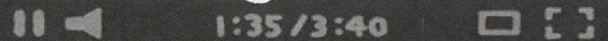
注目!

オンライン発達障害体験

2021年11月12日(金)

10:00~12:00

詳しくは同封のチラシをご覧の上
ご応募ください



【発行】 富士見市ボランティアセンター



〒354-0021 富士見市鶴馬1932-7市民福祉活動センター「ぱれっと」内
Tel 049-254-0747 fax 049-255-4374 mail fujimi-vc@fujimi-shakyo.or.jp

富士見市社会福祉協議会ホームページ

富士見市社会福祉協議会

富士見市ボランティアセンター

<http://www.fujimi-shakyo.or.jp/>

(@fujimi_shakyo)

LINE
公式アカウント



富士見市ボランティアセンター公式アカウント
(@fujimi_shakyo_vc)

